

RØDE[®]
MICROPHONES



K2



USER'S MANUAL
-取扱説明書-



株式会社 サウンドハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は RODE K2 をお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。なお、本書が保証書となりますので大切に保存してください。

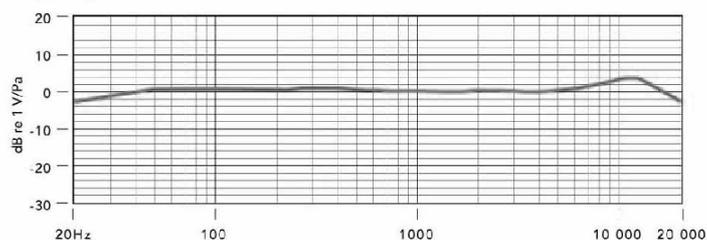
主な仕様

タイプ	: 25mm 大口径ダイアフラム搭載コンデンサーマイクロフォン
パーツ	: 双指向性出力バッファー付真空管インピーダンスコンバーター
指向性	: マルチパターン（下図参照）
周波数特性	: 20Hz～20kHz
出力インピーダンス	: 200 Ω
S/N 比	: >81dB (1kHz は 1Pa に相対、per IEC651、IEC268-15)
等価ノイズ	: 10 dBA SPL (per IEC651、IEC268-15)
最大出力	: >+30dBu (@1% THD into 1k Ω)
最大 SPL	: 162dB (@1% THD into 1k Ω)
感度	: -36dB re 1 Volt/Pascal (16mV@94dB SPL) +/-2dB
ダイナミックレンジ	: 150dB (per IEC651、IEC268-15)
電源	: 専用電源ユニット (100～120V、50/60Hz)
サイズ・重量	: 5.4 (直径) × 21 (全長) cm、815 g
付属品	: ハードケース・サスペンションホルダー (SM2)

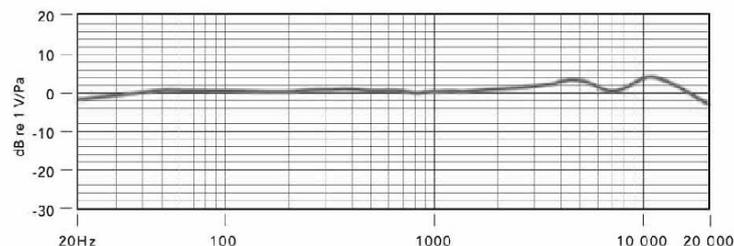
周波数特性

Frequency Response:

- Omni



- Cardioid



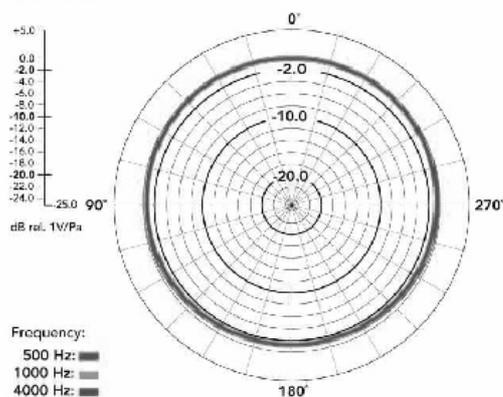
機能

- 新型大口径カプセル、ダイヤフラムはゴールド・スパッタ加工
- 超低ノイズ
- 広範囲にわたるダイナミックレンジ
- クラス A 真空管回路
- 6922 ツイン・トライオード真空管（手作業で選別）
- 専用電源ユニット付属
- スチール製グリル
- 丈夫なサテンニッケル仕上げ
- 内部ショックマウント仕様
- 無線周波数を排除
- SM2 ショックマウントおよび RC2 ハードケース付属
- 無指向性、単一指向性、双指向性に可変コントロール可能
（電源ユニットにてコントロール）

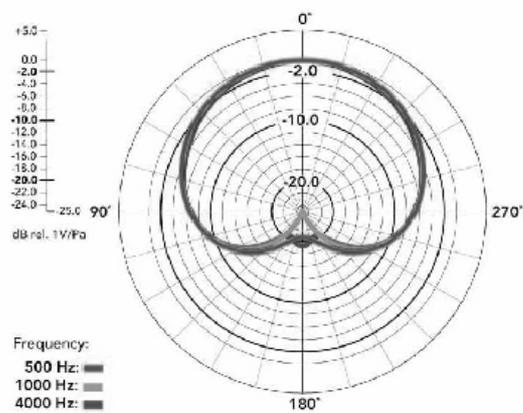
指向性

Polar Pattern:

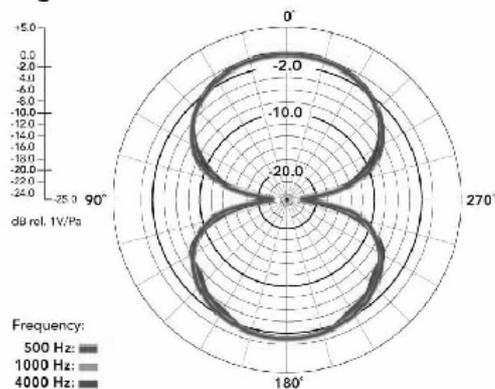
- Omni



- Cardioid



- Figure 8.



付属品

K2 電源ユニット



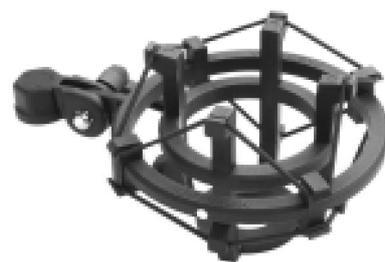
K2 ケーブル



RC2 専用ハードケース



SM2 ショックマウント



K2 電源ユニットについて注意点

K2 を日本国外で使用する場合、K2 電源ユニットの電圧設定を変更する必要があります。必要な場合は販売店もしくは正規代理店にお問合せください。

K2 をご使用になる前に

K2 の電圧設定が 100～120V、50/60Hz であることを確認してください。K2 電源ユニットの背面には主電源用ソケット、グラウンド・リフト（アース）、マイク入力端子、電圧セレクタがあります。主電源ソケットはヒューズも兼用しています。電源ユニットの前面には主電源 ON/OFF スイッチ、青色電源 LED、指向性コントロール用のつまみがあります。

K2 は 100～120V 50/60Hz の電源で使用できます。ヒューズは主電源ソケット内にあります。交換の際は必ず T500mA スロー・ブロー・ヒューズと交換してください。

ご注意：

感電の恐れがあるため、電源ユニットを開かないでください。異常が生じた場合、お客様ご自身での修理は行わず、販売店もしくは正規代理店までご相談ください。主電源のアースを取り除かないでください。電源ユニットが正しい電圧に設定されていることを確認してから、K2 に電源を接続してください。

K2 のセッティング方法



1. K2をショックマウント SM2に固定してください。SM2はマイクスタンドにしっかりと固定しておきます。K2は精密機器ですので、落としたり、強い衝撃を加えないでください。
2. 付属のケーブルを K2 電源ユニットに接続します。7 ピン XLR 端子（オス）を電源ユニット背面の 7 ピン XLR 入力端子に接続してください。
3. 同じケーブルのもう一端（7 ピン XLR 端子、メス）をマイクに接続してください（画像を参照）。ケーブルを差し込む端子が合っているか、端子がしっかりと接続されたかを確認してください。
4. 次にマイクケーブル（別売）を K2 電源ユニットの出力端子に接続し、もう一端をミキサーかプリアンプに接続してください。ケーブルは高品質な金メッキコネクタのものを使用されることをお勧めします。長いケーブルはノイズの原因となるため、出来るだけ短いケーブルをご使用ください。
5. K2 電源ユニットを主電源に接続してください。これで K2 のスイッチを入れれば、準備完了です。
6. 電源スイッチを ON にすると、電源ユニット上の LED が青く点灯します。いきなり音源を入力せず、電源スイッチを ON にしてから 1～2 分待つて機材を安定させてください。
7. ボーカル録音には必ずポップガードを使用してください。サ行、タ行などの子音や濁点を含む破裂音では空気が激しく噴出される為、カプセルがオーバーロードして、ポップノイズを引き起こします。これはポップフィルターによって未然に防げます。またカプセルに水分が付着することも防げます。
8. アース・ループノイズ（メイン周波数ハム）が発生した場合、K 2 電源ユニット背面にあるグラウンド・リフト・スイッチを「LIFT」に設定することにより回避できる場合があります。アース・ループはアースされた機材同士がケーブル接続されることによって生じるノイズです。
9. K2 は無指向性、単一指向性、双指向性のいずれにも設定でき、あらゆるレコーディン

グに対して最適な設定を行うことができます。

10. **K2** 電源ユニットのフロントパネルのつまみを回し、指向性を設定してください。ボーカル録音で最も一般的な極性は単一指向性（CARDIOID）です。その場合センターの位置にダイヤルを設定してください。単一指向性に設定した場合、マイクが收音するのは正面からの音だけで、背面からの音は排除されます。
11. 無指向性（OMNI）に設定した場合（ダイヤルを一番左回りに設定）、マイクは 360 度收音します。無指向性では近接効果（音源がマイクに近づくと、低域が目立つこと）があまりなくなります。ルーム・マイキングや、楽器を近接録音する際により自然な音を収録したい場合、無指向性を選択してください。
12. 双指向性（FIGURE OF EIGHT）に設定した場合（ダイヤルを一番右回りに設定）、マイクの前後から聴こえてくる音源が收音され、左右の音は排除されます。2 人が一つのマイクを囲むインタビューや、単一指向性マイクをもう一本使用し、M-S ステレオ録音を行う際に双指向性を選択します。
13. 単一指向性、無指向性、双指向性の間のどの位置にも極性を設定できます。例えば無指向性と単一指向性のちょうど中間にダイヤルをセットしてみてください。マイク背面からの音が完全に排除されず、少しだけ拾われていることが分かるはずです。一般の単一指向より背面の音源を拾いたい場合に便利な機能です。
14. 様々な指向性、パッド、フィルターの設定を試し、ベストなサウンドを探し出してください。コントロール設定を行ってから数秒待つと、各設定の違いがはっきり聴こえるようになります。

ボーカル



ボーカル録音には必ずポップガードを使用してください。サ行、タ行などの子音や濁点を含む破裂音では空気が激しく噴出される為、カプセルがオーバーロードして、ポップノイズ

を引き起こします。これはポップガードによって未然に防げます。またカプセルに水分が付着することも防げます。

マイクおよびポップフィルターの設置位置は、收音環境や音楽ジャンル、ボーカルのキャラクターによって変える必要があります。ベストな設置位置は試行錯誤して得られますが、まずは写真のように設置してみてください。

ボーカルがマイクに近づくと、近接効果が生まれます（低域が強くなります）。適切なマイク技術を応用すれば近接効果を有効利用することが出来ます。例えば小さな声の囁き等は、近接効果が素晴らしい効果を生みます。一方声量が大きなフレーズについてはボーカルとマイクの距離を十分に取ってください。ボーカル録音に表情を加えるためには、このテクニックが非常に有効です。

ピアノ



1本のマイクでピアノ録音を行う場合、上の写真のように、マイクをサウンドボードの中心から、約60cm上に設置してください。マイクカプセル部分は、ピアノの正面を向くようにして下さい。

2本のマイクでX/Yステレオ録音を行う場合、2本のK2をバーに設置し、互いに90°～110°の角度で向き合うようにして下さい。そして1本は下弦、もう1本は上弦に向かって設置します。いずれも正面を意味する金色の点がピアノ側になるように設置してください。低域は左側のマイクで収録し、高域は右側のマイクで録音すると有効なステレオ・イメージが得られます。中域は録音された音響スペクトルの中心にくるよう設定してください。

ドラム



ドラムキットの録音方法には幾通りかの種類があります。一本のマイクをオーバーヘッドに設置する方法、マイク 2 本をオーバーヘッドに設置する方法(X/Y もしくは間隔をとる)、各ドラム、シンバルごとに個別にマイクを使用するマルチマイクなどです。1 本のマイクで録音する場合、ドラムキットの上、中心部に向けてマイクカプセルを下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じにしてください。

マイク 2 本を使ってオーバーヘッド録音をする場合、ドラムキットの上、中心部に向けてマイクカプセルを下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じです。マイク同士はドラムキットの幅に応じて、1~2 メートル離してください。スネアドラムとは、マイク 2 本ともほぼ等しい距離になるよう設置してください。

X/Y ステレオ技法を使って録音をする場合、ドラムキットの上中心に 2 本のマイクを吊り下げます。マイク正面を下向きにして設置してください。マイクを設置する高さはドラムキットの幅とほぼ同じにして下さい。マイク同士は 90~110° 傾けて互いを向き合うよう設置します。

アコースティックギター



最も一般的なのは、マイク 1 本をギターの正面から 20~30cm 離して設置する方法です。マイクはネックとボディの接合点に向けます。マイクとギターの距離および設置位置については微調整が必要です。最適なレスポンスはギター、演奏方法、理想とするサウンドによって異なります。

エレキギター



ギター/ベースアンプから收音する場合、マイクをアンプのスピーカーに接近させてください。ただしマイクをスピーカー正面には向けず、スピーカーの縁を向くようにします (OFF AXIS)。パッドがない場合、大音量で歪みが発生する恐れがあるため、マイクとスピーカーの間に十分な距離を取ってください。

◇注意事項◇

1. 他のコンデンサーマイクと同様に K2 も湿気には十分に気を付けて下さい。特にボーカル用として使用する場合は湿気の影響を受けやすいため、ポップガードを併用して下さい。このスクリーンを使用することによりポップノイズを防ぐこともできます。
2. K2 は精密なマイクである為、決して落とさないで下さい。使用後は清潔な布でマイクを拭き、付属のハードケースに除湿材を入れ保管してください。この除湿材は通常青色ですが、ピンク色に変色している場合は 100-150 度のオープンの中に入れて、青色になるまで熱することで再度除湿剤として使用可能です。
3. マイク内部のパーツはとてもデリケートなため、カプセルの周りのメッシュ・ケージは絶対に外さないでください。

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より10年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

